

史上最高値を更新する金価格

- 地政学的なリスクの高まりや世界的にインフレが継続する中、金価格は過去1年で約40%上昇し、市場最高値を更新しています。
- 金はどの国においてもその価値が認められている実物資産であり、国の経済状況などに左右されにくい性質があるため、資産を守る安全資産としての役割があります。

金と世界・米国株式指数の推移 (25年間)



(注) 世界株式はMSCI ACWI Index、米国株式はS&P 500指数。金価格は米ドル建てスポット価格、株式指数は米ドル建て、トータルリターン。期間は2000年8月末から2025年8月末まで、月次。2000年8月末を基準日に100とし、指数化。(出所) BloombergよりGlobal X Japan作成

インフレーションに強い金

- コロナからの経済のV字回復による需要の急増や、各国中央銀行の金融緩和、地政学リスクの高まりによる供給制約など複合的な要因から世界的にインフレが常態化しています。
- インフレにより通貨の価値が低下し、購買力が低下する一方で、実物資産である金の価値は相対的に高まっています。

金に対する通貨の相対価値の推移



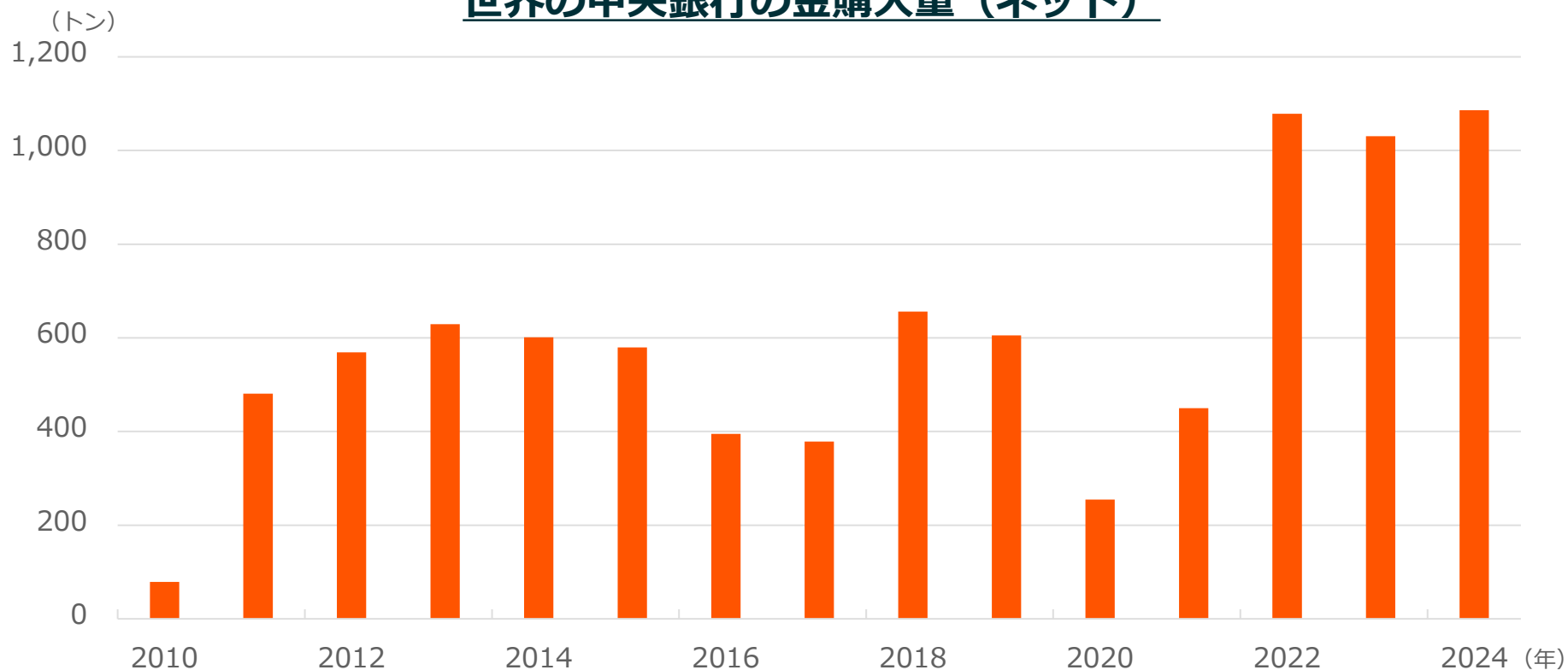
(注) 期間は2000年7月末から2025年8月末まで、月次、2000年末を基準日に100とし、指数化してあります。

(出所) BloombergよりGlobal X Japan作成

各国中央銀行も金を買増し

- 米ドルの支配的地位が相対的に低下する中、世界各国の中央銀行は近年積極的に金を購入しています。
- 中央銀行は「経済危機時の価値保全」「他国通貨への過度な依存回避」「長期的な実物資産としての価値」といった理由から金を買増しています。

世界の中央銀行の金購入量（ネット）

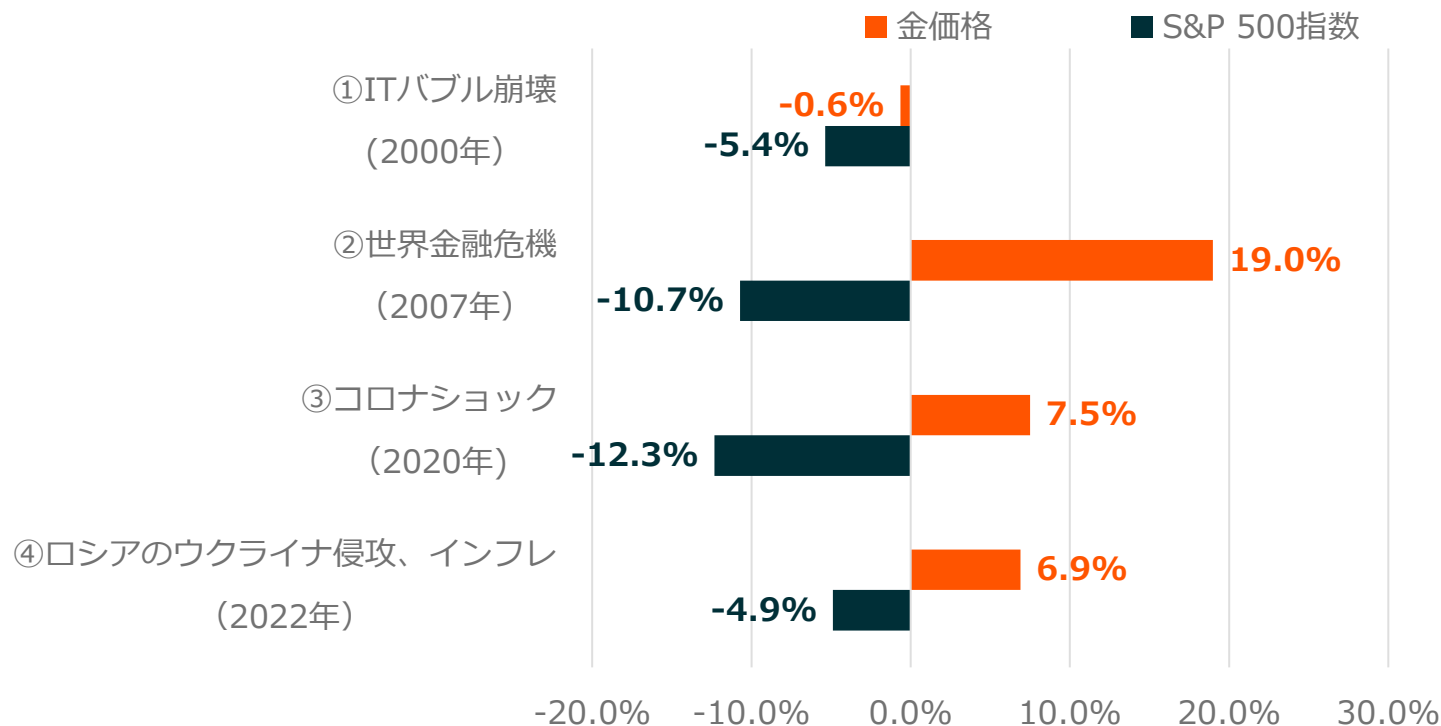


(注) 期間は2010年から2024年まで、年次合計。(出所) StatistaよりGlobal X Japan作成

危機時にこそ頼れる“安全資産”金

- 投資家は、金を危機時にこそ頼れる資産として昔から信頼してきました。
- 株式市場が急落する歴史的なショックにおいて、金は株式とは異なる値動きをし、多くの場合逆に上昇してきました。

各ショック時の高値から3か月後のパフォーマンス比較



(注) 期間：①2000年3月24日～2000年6月23日、②2007年10月9日～2008年1月8日、③2020年2月19日～2020年5月18日、④2022年1月3日～4月1日、日次。金価格は米ドル建てスポット価格、S&P500指数はトータルリターン。(出所) BloombergよりGlobal X Japan作成

金による分散投資効果

- 金が株や債券とは異なる値動きをすることは、"相関係数"の低さからも読み取れます。
- 株式や債券のポートフォリオに金を組み合わせることでリスクを抑制し、ショック時にポートフォリオを守ることが期待されます。

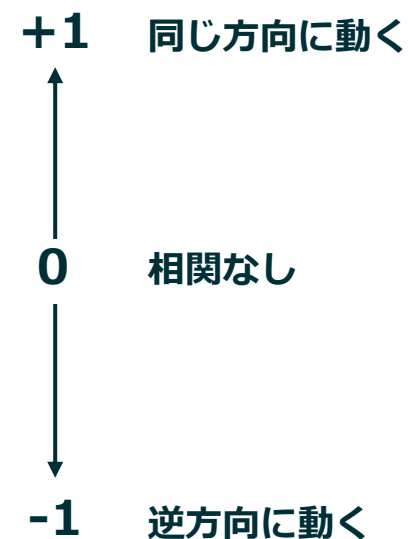
各アセット間の相関（円ベース）

ポイント

- 他のアセットとの相関が低い
- ポートフォリオの分散投資先として有効

＜相関係数＞	金価格	世界株式	米国株式	日本株式	世界債券
金価格	1.00				
世界株式	0.23	1.00			
米国株式	0.18	0.97	1.00		
日本株式	0.13	0.76	0.70	1.00	
世界債券	0.37	0.58	0.55	0.39	1.00

相関係数のイメージ

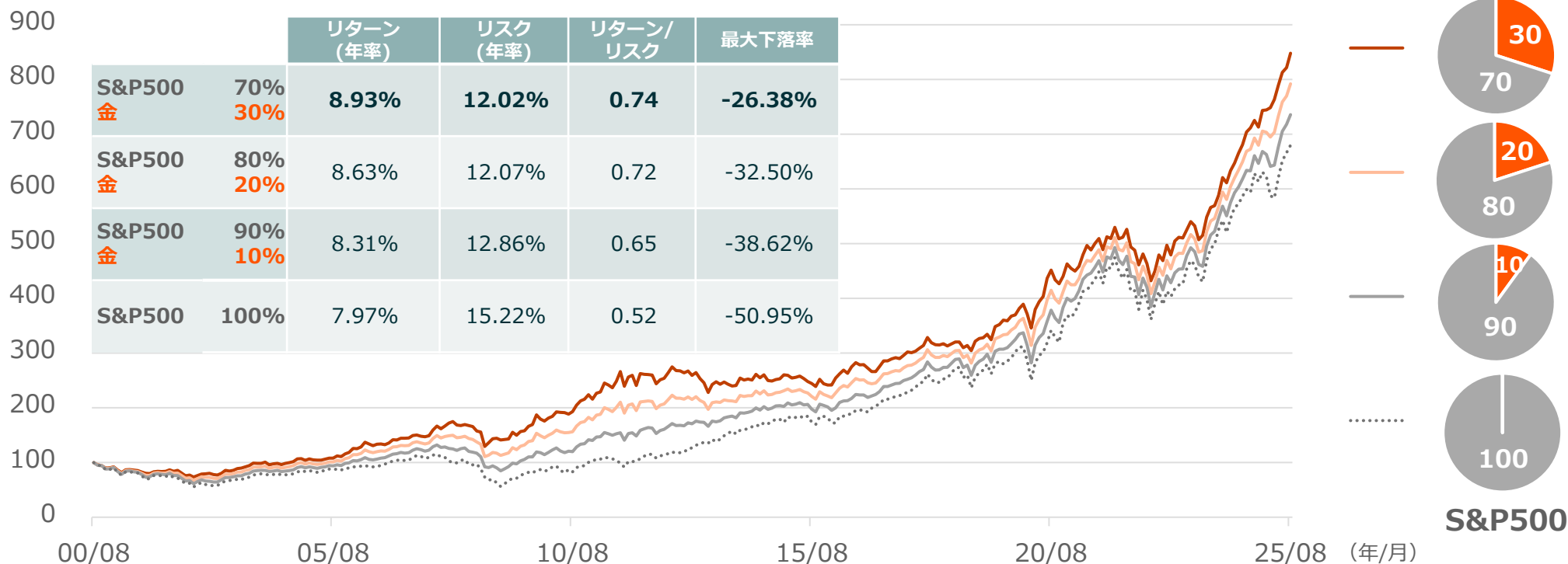


（注）世界株式はMSCI ACWI Index、米国株式はS&P 500指数、日本株式はTOPIX、世界債券はFTSE世界国債インデックス。金価格は米ドル建てスポット価格の円換算、株式指数及び債券指数は円建て、トータルリターンを使用しています。期間は2000年7月末から2025年8月末まで、月次リターンの騰落率をもとに算出しています。（出所）BloombergよりGlobal X Japan作成

ポートフォリオにどの程度金を加えたらよい？

- 米国株式 (S&P500) のみのポートフォリオに、金を異なる割合で組み合わせた時のパフォーマンスのシミュレーションです。
- 金を組み入れることで、ポートフォリオのリスクが低下し、リスク/リターンの投資効率が改善することが分かります。

金とS&P500の分散投資例



(注) 米ドルベースでのシミュレーションです。過去のパフォーマンスを示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。指数を用いたシミュレーションのため購入時手数料や税金などは考慮していません。(注) 金価格は米ドル建てスポット価格、S&P500指数は米ドル建て、トータルリターン。期間は2000年8月末から2025年8月末まで、月次。2000年8月末を基準日に100とし、指数化。(出所) BloombergよりGlobal X Japan作成

低コスト・機動的・NISAで利用可能なETFで金に投資

- ETFなら、取引時間中に変動する価格を見ながらリアルタイムで売買することが可能です。
- 当ETFはNISAの成長投資枠で投資が可能です。
- 金に主に投資する国内のETFまたは投資信託において、信託報酬が業界最低水準である当ETFをポートフォリオに加えることは、中長期的な資産形成に有効であると考えられます。

金への投資手段による比較

	現物投資	投資信託	グローバルX ゴールド ETF
税制	総合課税	分離課税	分離課税
NISA成長投資枠対応	不可	銘柄によって異なる	可
最低投資単位	業者によって異なる	小額から投資可能	10口（3,000円程度）
手数料・コスト	手数料＋ 売買スプレッド ※小口の場合は手数料が高い場合あり	販売手数料 （販売会社によっては無料） ＋信託報酬等 ※信託報酬はETFより高め	売買手数料 （証券会社によっては無料） ＋信託報酬等＋スプレッド ※信託報酬は 東証上場ETF最安
価格更新 タイミング	店頭価格は 業者提示ごと	基準価額の算出は1日1回	取引時間中 リアルタイムに変動
現物の裏付け	あり	銘柄によって異なる	あり*

（注）2025年8月21日時点。税制の詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
*現物の裏付けを有するオーストラリア上場のETFに投資をします。

Global X とは

2008年に米国で創業した**ETF専門の資産運用会社**

革新的なETF※のパイオニア

成長テーマ型とインカム型を中心に幅広いラインアップを有する

**米国上場ETFは98本 運用資産残高は約647億米ドル（約9.5兆円）
（2025年8月末時点）**

※「革新的なETF」とは、株式市場全体（TOPIX等）に連動する伝統的な指数とは異なる指数に連動するETFのことを指します。
（注）1ドル=146.92円で換算

Global X Japanとは

日本で唯一のETF専門資産運用会社※1

**成長テーマ型、インカム型、コア型、コモディティ型の
革新的なETF※2を上場**

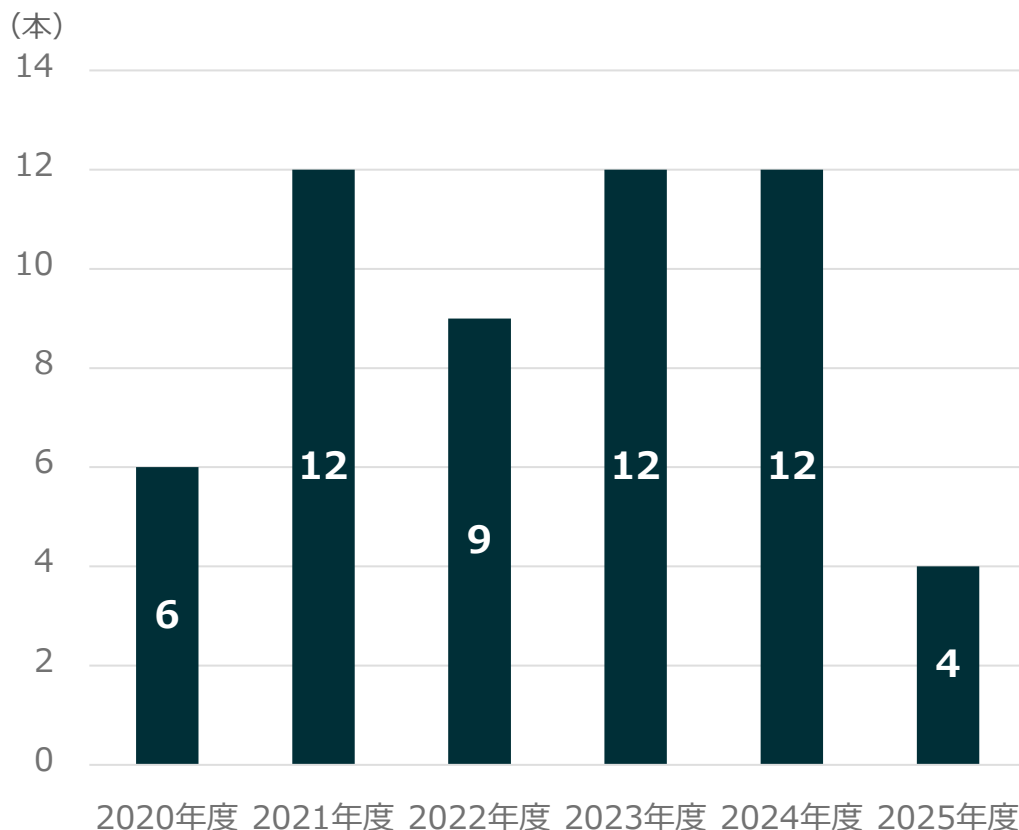
**国内上場ETFは55本、運用資産残高は約5,192億円
(2025年8月末時点)**

※1 投資運用会社各社ホームページをもとにGlobal X Japan調べ（2025年8月末時点）

※2 「革新的なETF」とは、株式市場全体（TOPIX等）に連動する伝統的な指数とは異なる指数に連動するETFのことを指します。

東証ETF新規上場本数5年連続No.1 パフォーマンス2年連続No.1

グローバルX 東証ETF年間上場本数



👑1位 👑1位 👑1位 👑1位 👑1位

(注) Global X Japan調べ (2025年8月末時点)

東証ETFパフォーマンスランキング

【2024年国内ETFの価格上昇率ランキング】

コード/銘柄名	上昇率
👑1位 2244 グローバルX US テック・トップ20 ETF	64.3%

【2023年国内ETFの価格上昇率ランキング】

コード/銘柄名	上昇率
👑1位 2644 グローバルX 半導体関連-日本株式 ETF	90.4%

(注) 2023年 (2022年12月30日～2023年12月29日) 、2024年 (2023年12月29日～2024年12月30日) での、NAV、トータルリターンベース。年末時点において運用期間が1年に満たないETF、レバレッジ型のETFを除く。Global X Japan調べ (出所) BloombergよりGlobal X Japan作成

<投資リスク>

●当動画で紹介したファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「金の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替リスク」、「カントリー・リスク」、「その他」

※基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。 ※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

<ファンドの費用>

グローバルX ゴールド ETF（為替ヘッジあり） グローバルX ゴールド ETF

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が定めるものとします。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
換金時手数料	販売会社が定めるものとします。	受益権の換金に関する事務等の対価です。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	毎日、次のイ. の額にロ. の額を加算して得た額 イ. 信託財産の純資産総額に 年率0.0275%(税抜0.025%) 以内を乗じて得た額 ロ. 信託財産に属する有価証券の貸付けにかかる品貸料に55%（税抜50%）以内の率を乗じて得た額	
投資対象とするETF	年率0.15%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率0.1775%（税込）程度	
その他の費用・手数料	● 有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、監査報酬等を信託財産でご負担いただきます。 ※ 売買委託手数料などの「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ● 受益権の上場にかかる費用および対象指数の商標の使用料（商標使用料）ならびにこれらにかかる消費税等に相当する金額を、受益者の負担として信託財産から支払うことができます。 ※提出日現在、商標使用料は信託財産の純資産総額に、年率0.02%以内を乗じて得た額となります。 ※提出日現在、上場にかかる費用は以下となります。 ・年間上場料：毎年末の純資産総額に対して、最大0.00825%（税抜0.0075%） ・追加上場料：追加上場時の増加額（毎年末の純資産総額について、新規上場時および新規上場した年から前年までの各年末の純資産総額のうち最大のもののからの増加額）に対して、0.00825%（税抜0.0075%）	

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

●当ファンドとGlobal X Gold Bullion ETFの連動対象指数に関する留意点

Global X Gold Bullion ETFの連動対象指数であるSolactive Gold Spot London Close Indexはロンドン午後3時から午後3時5分にかけてのTWAP金価格に基づき算出されます。また、当ファンドの基準価額はGlobal X Gold Bullion ETFの上場市場であるオーストラリア（シドニー）における終値に基づき日々算出されます。そのため、シドニー午後3時（サマータイムの場合は午後2時）の金価格を実質的に反映している（※1）当ファンドの基準価額とSolactive Gold Spot London Close Indexの間には金の評価タイミングとしておよそ9時間から11時間の乖離が発生します。当該乖離の発生を防ぐため、当ファンドでは実質的にシドニー午後3時（サマータイムの場合は午後2時）の金価格を反映している（※2）Global X Gold Bullion ETFの終値に基づき算出されるMirae Asset Gold Bullion ETF Indexを円ヘッジ、円換算したMirae Asset Gold Bullion ETF Hedged Indexを連動対象指数としています。

※1 Global X Gold Bullion ETFの取引状況等により、Global X Gold Bullion ETFと金現物価格の間で乖離が発生する可能性があります。

※2 Global X Gold Bullion ETFの取引状況等により、Mirae Asset Gold Bullion ETF Indexと金現物価格の間で乖離が発生する可能性があります。詳細につきましては後述の「対象指数の動きに関する留意点」をご参照ください。

●基準価額の動きに関する留意点

グローバルX ゴールド ETFは、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を「Mirae Asset Gold Bullion ETF Index」を円換算した値の変動率に一致させることを目的として運用を行ないます。グローバルX ゴールド ETF（為替ヘッジあり）は、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を「Mirae Asset Gold Bullion ETF Hedged Index」の変動率に一致させることを目的として運用を行ないます。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- (a) 投資対象である上場投資信託証券の有価証券組入比率が指数構成銘柄と全く同一の比率とならない可能性があること
- (b) 当ファンドおよび投資対象である上場投資信託証券の運用管理費用（信託報酬）、売買委託手数料等の費用負担
- (c) 資金の流入のタイミングと当ファンドが投資対象である上場投資信託証券を売買するタイミング、当該上場投資信託証券が組入証券を売買するタイミングの不一致
- (d) 金先物取引と指数の動きの不一致（金先物取引を利用した場合）
- (e) 投資対象である上場投資信託証券の配当金や権利処理等によって当ファンドの信託財産に現金が発生すること

●対象指数の動きに関する留意点

対象指数は、金現物を裏付け資産とするGlobal X Gold Bullion ETFの価格に連動する指数です。

ただし、主として次の理由から、対象指数の動きが金現物価格と大きく乖離する場合があります。

- (a) 市場での気配提示が少ない状況で大きな成行注文が執行された場合
- (b) 市場の取引終了時刻にかけて取引がされず取引終了時刻から離れた時刻に約定した価格がETFの終値となってしまった場合
- (c) 取引時間中に約定がつかずその日の終値がない場合

●指数の著作権等について

Mirae Asset Global Index Private Limitedが提供するインデックスまたはその他の製品もしくはサービスの公表および管理に関して提供する情報は、証券、金融商品、製品もしくは取引戦略の売買または保証、スポンサーシップもしくは推薦と見なすべきではない。Mirae Asset Global Indexは、いかなる状況または側面においても、そのインデックスまたはインデックス値を使用することから得られる情報または結果の正確性、適時性、完全性または適切性について、明示的にも黙示的にも、主張、予測、保証または確約を行わない。Mirae Asset Global Indexは、インデックスが正しく計算されるよう最善の努力を払う。本インデックスまたはその中に含まれるデータに関する商品性または特定目的もしくは使用への適合性に関する明示または黙示の保証は一切行わず、また明示的にすべての保証を否認する。前記事項を制限することなく、Mirae Asset Global Indexは、いかなる場合にも、特別損害、懲罰的損害、間接損害または派生的損害（逸失利益を含む）について、当該損害の可能性について通知されていたとしても、一切責任を負わないものとする。

●当資料のお取扱いにおけるご注意

当資料は、Global X Japan株式会社が作成した情報提供資料です。ETFを金融商品取引所で売買される場合には、委託会社作成の投資信託説明書（交付目論見書）は交付されません。売買をお申込みになる証券会社に、当該取引の内容についてご確認ください。金融商品取引所における取引価格と基準価額は異なります。金融商品取引所における価格情報等については、売買をお申込みになる証券会社にお問い合わせになるか、ETFが上場する金融商品取引所のウェブサイト等をご覧ください。株式または金銭の拠出により当ファンドの取得（応募、追加設定）をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社（指定参加者）よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。

ETFは、値動きのある有価証券等に投資しますので、取引価格、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。また、当資料中における運用実績等は参考とする目的で過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。また、当資料の内容についての著作権は、当社その他当該情報の提供元に帰属しています。また、当資料で掲載した画像等はイメージです。

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。当資料でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ETFに組入れることを示唆・保証するものではありません。

Global X Japan株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3174号 一般社団法人日本投資顧問業協会会員 一般社団法人投資信託協会会員

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 国内ETF（国内取引所上場投資信託）および国内ETN/JDR（国内取引所上場投資証券または指標連動証券/預託証券）の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行なう場合、約定代金に対して最大1.26500%（但し、最低2,750円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、海外ETF（外国取引所上場投資信託）および海外ETN（外国取引所上場投資証券または指標連動証券）の外国取引にあたっては約定代金に対して最大0.99000%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります（以下、ETFおよびETN（ETN/JDR）を「ETF等」といいます）。
- ETF等の保有期間中に、管理会社等の運用管理費用（信託報酬）等の諸経費を間接的にご負担いただきます。その額または料率は変動しますので、本書面上その上限額または計算方法の概要をあらかじめ記載することはできません。日本取引所グループのウェブサイトの銘柄一覧等でご確認ください。
- 信用取引を行なうにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行なうことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- ETF等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、指標連動型ETF等の売買等にあたっては、連動する指標等の変動による損失が生じるおそれがあります。
- ETFの運用にあたっては、配当落ちによる要因や分配金の希薄化・濃縮化その他、有価証券の組入れコストの影響を受けます。また、ETF等の市場価格は需給状況等により基準価額または一証券あたりの償還価額等と値動きが一致しない場合もあります。
- 国内取引所のETF等はすべて円建てで取引されているため、外貨建ての資産に投資する場合は、裏付け資産の価格や収益力の変動要因だけでなく、現地通貨と日本円の為替変動を勘案する必要があります。為替変動リスクの影響を低減するための手法として為替ヘッジがあります。ただし、為替変動の影響を完全に排除できるものではありません。また、外国取引所のETF等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- ETF等の取引量や注文量が少ない場合には、市場実勢から見込まれる価格で売買ができないことがあります。
- 債券または店頭デリバティブ取引を裏付け資産とするものは、信用リスクが生じるおそれがあります。
- 信託の継続が困難であるとETFの管理会社またはETN/JDRの信託受託者等が判断した場合、償還または信託終了の可能性があり、償還金または残余財産給付額が投資元本を下回るおそれがあります。特に、ETNは債券なので、場合によっては早期償還があり、また償還期日を迎えると償還されます。また、取引所が定める上場廃止基準に該当して、上場廃止になることがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、日本取引所グループのウェブサイトおよび資料、管理会社または発行者（関係会社を含む）のウェブサイトおよび資料等をよくお読みください。

ETF等の信用リスクに関する説明ページ

<https://www.jpx.co.jp/equities/products/etns/risk/index.html>

<https://www.jpx.co.jp/equities/products/etfs/risk/01.html>

<https://www.jpx.co.jp/equities/products/etfs/risk/02.html>

商号等：大和証券株式会社 / 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

管理会社（運用会社）に関する補足情報

Global X Japan株式会社について

- (1) 会社名 : Global X Japan株式会社
- (2) 本社所在地 : 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 山王パークタワー 21階
- (3) 事業の内容 : 投資運用業、投資助言・代理業
- (4) 設立 : 2019年9月
- (5) 資本金 : 50億円（資本準備金を含む）
- (6) 株主 : Global X Management Company,Inc.（50%）

大和アセットマネジメント株式会社（40%）

株式会社大和証券グループ本社（10%）

Global X Management Company,Inc.について

- (1) 会社名 : Global X Management Company,Inc.
- (2) 本社所在地 : 605 3rd Avenue, 43rd Floor, New York, New York 10158
- (3) 事業の内容 : 投資運用業

沿革

2019年9月

Global X Japan株式会社設立。当初は株式会社大和証券グループ本社（以下、大和証券グループ本社）が発起人となり設立し、その後、上記（6）株主の3社にて増資を行い資本金は50億円（資本準備金を含む）となっております。

関係会社の状況

- ・ 大和証券グループ本社は弊社の親会社です。
- ・ 大和アセットマネジメント株式会社は大和証券グループ本社の連結子会社です。